

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-98	中学校	社 会	地 理	1・2年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
116 日文	地理 728	中学社会 地理的分野		

1. 編修の趣旨及び留意点

教育基本法ならびに学校教育法の趣旨をふまえるとともに、中学校学習指導要領第1章 総則および第2章第2節社会〔地理的分野〕に示された趣旨や目標、内容を基準にして、生徒たちが学習内容を確実に身につけ、意欲的に楽しく地理的分野の学習を進められることをめざして編修しました。

また、日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、それを多面的・多角的に考察できるように留意しました。そして、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し、地理的認識を養うとともに、我が国の国土に対する理解と愛情を深めることができる教材を選定しました。

2. 編修の基本方針

教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために、特に次の点に意を用いて編修しました。

- ① 中学校学習指導要領に準拠し、我が国の国土及び世界の諸地域に関する基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得し、日本や世界の地理的事象を多面的・多角的に考察する態度を養うことで、幅広い知識と教養を身につけることができるようにする。
- ② 意欲的に学習に取り組めるように、学習のねらいを明確にし、思考力・判断力・表現力の向上を図りながら、自己の学習の成果を実感できる構成にするとともに、我が国や世界の諸地域に住む様々な人々の日常に触れることで、職業および生活についての関心を高め、勤労を重んずる態度を育てることができるようにする。
- ③ 協働して取り組む学習活動の場面では、責任をもって自分の考えを伝え、他者の考えを認め、他者を敬う態度を身につけられるようにするとともに、社会の一員としての自覚を培えるようにする。
- ④ 我が国や世界の諸地域、自分たちの住む身近な地域における、環境問題や環境保全、持続可能な社会、災害・防災といった諸課題の現状と改善に取り組む人々の努力について考えさせる内容を随所に配し、生命や自然を大切にし、環境の保全に寄与するとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるようにする。
- ⑤ 我が国の伝統と文化の特色を広い視野に立って考え、身近な地域や我が国を愛する心を養えるようにする。また、国際理解を深めることができる内容を豊富に取り上げ、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に貢献する態度を育てることができるようにする。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	・「世界の仲間」を設け、世界の諸地域における教育場面の写真を掲載し、世界の諸地域に対する興味・関心を喚起することで、他国を尊重するきっかけとなるようにしました。(第1号、第5号)	P. II～III
第1編第1章 世界の姿	・小学校での学習内容のふりかえりや様々な作業学習を行うことで、楽しみながら世界の地域構成を学習することができるようにしました。(第1号、第2号、第5号)	P. 1～12
	・国名や国旗にこめられた人々の思いを本文、「地理+α」で学習することで、我が国を愛する心とともに、他国を尊重する態度を養うことができるようにしました。(第5号)	P. 6
第1編第2章 世界各地の人々の生活と環境	・世界各地の人々の生活について固定観念をもたせないよう、最新の生活の様子とその変容を取り上げるとともに、人々の生活を紹介する「声コーナー」を設け、多文化共生社会の重要性を認識できるようにしました。(第1号、第5号)	P. 13～25
	・世界の宗教・言語について大観できるようにするとともに、日本人の生活と宗教、日本語と日本社会について掘り下げる「地理+α」を設けました。(第1号、第5号)	P. 26～29
第1編第3章1 アジア州－経済成長による社会の変化をテーマに－	・人々の生活場面（日常生活・余暇・労働など）の写真を豊富に掲載するとともに、人々の生活を紹介する「声コーナー」を設け、多文化共生社会の重要性を認識できるようにしました。また、学習内容をもとに思考・判断・表現する「言語活動コーナー」や「学習の確認と活用」で自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができました。(第1号、第2号、第3号、第5号)	P. 32～45
	・環境問題や環境保全、持続可能な社会について系統立てて学習する「地理+α 持続可能な社会」を設けました。(第1号、第3号、第4号)	P. 33
	・クウェートに住む日本人の声を紹介する「声コーナー」、スリランカと日本との結びつきを紹介する「自由研究」を設け、諸外国と日本との関係の一例を取り上げました。(第5号)	P. 43, 44
第1編第3章2 ヨーロッパ州－EU統合による社会の変化をテーマに－	・人々の生活場面（日常生活・余暇・労働など）の写真を豊富に掲載するとともに、人々の生活を紹介する「声コーナー」を設け、多文化共生社会の重要性を認識できるようにしました。また、学習内容をもとに思考・判断・表現する「言語活動コーナー」や「学習の確認と活用」で自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができました。(第1号、第2号、第3号、第5号)	P. 46～57
	・環境問題や環境保全、持続可能な社会について系統立てて学習する本文、「地理+α 持続可能な社会」、「自由研究」を設けました。(第1号、第3号、第4号)	P. 54～56
第1編第3章3 アフリカ州－主な生産品にたよる経済からの変化をテーマに－	・人々の生活場面（日常生活・余暇・労働など）の写真を豊富に掲載し、多文化共生社会の重要性を認識できるようにしました。また、学習内容をもとに思考・判断・表現する「言語活動コーナー」や「学習の確認と活用」で自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができました。(第1号、第2号、第3号、第5号)	P. 58～67
	・環境問題や環境保全、持続可能な社会について系統立てて学習する「地理+α 持続可能な社会」を設けました。(第1号、第3号、第4号)	P. 59
	・日本をはじめ各国が行っているアフリカ州への支援や協力を取り上げ、国際社会の発展に寄与する態度が養えるようにしました。また、内戦終結後の平和を求める取り組みを紹介した「自由研究」を設け、紛争を解決し、平和を希求することの重要性を認識できるようにしました。(第3号、第4号、第5号)	P. 63, 65, 66
第1編第3章4 北アメリカ州－世界じゅうに影響をあたえる産業をテーマに－	・人々の生活場面（日常生活・余暇・労働など）の写真を豊富に掲載し、多文化共生社会の重要性を認識できるようにしました。また、学習内容をもとに思考・判断・表現する「言語活動コーナー」や「学習の確認と活用」で自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができました。(第1号、第2号、第3号、第5号)	P. 68～79
	・環境問題や環境保全、持続可能な社会について系統立てて学習する「地理+α 持続可能な社会」を設けました。(第1号、第3号、第4号)	P. 69

	・産業の変化が都市にあたえた影響を学習する「自由研究」を設け、産業構造の変化の只中にある日本社会の将来像を考察することができるようにしました。(第1号, 第3号)	P. 78
第1編第3章5 南アメリカ州－開 発・環境問題と 人々の生活をテ ーマに－	・人々の生活場面（日常生活・余暇・労働など）の写真を豊富に掲載し、多文化共生社会の重要性を認識できるようにしました。また、学習内容をもとに思考・判断・表現する「言語活動コーナー」や「学習の確認と活用」で自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができるようにしました。(第1号, 第2号, 第3号, 第5号)	P. 80～89
	・環境問題や環境保全、持続可能な社会について系統立てて学習する本文、「地理＋α 持続可能な社会」を設けました。(第1号, 第3号, 第4号)	P. 84～87
	・移民史からみた日本とブラジルとの結びつきを紹介する「自由研究」を設け、日系移民の努力の歴史や多文化共生社会の重要性を認識できるようにしました。(第1号, 第2号, 第5号)	P. 88
第1編第3章6 オセアニア州－他 地域との結びつき の変化をテーマに－	・人々の生活場面（日常生活・余暇・労働など）の写真を豊富に掲載するとともに、人々の生活を紹介する「声コーナー」を設け、多文化共生社会の重要性を認識できるようにしました。また、学習内容をもとに思考・判断・表現する「言語活動コーナー」や「学習の確認と活用」で自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができるようにしました。(第1号, 第2号, 第3号, 第5号)	P. 90～98
	・環境問題や環境保全、持続可能な社会について系統立てて学習する「地理＋α 持続可能な社会」, 「自由研究」を設けました。(第1号, 第3号, 第4号)	P. 97, 99
第1編第4章 世界のさまざまな 地域の調査－ロシ アを例に－	・様々な調査方法や調査の具体例を紹介するなどして、調査対象となる地域または国への興味・関心を高め、地域または国の地域的特色を捉えることができるようにしました。(第1号, 第2号, 第5号)	P. 101～112
	・調査活動全般において、自分の言葉で表現し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができるようにしました。また、調査の際には、情報の正確性を確認すること、聞き取り調査でマナーを守ること、資料の引き写し（コピーアンドペースト）をしてはいけないことなども明記しました。(第1号, 第2号, 第3号)	P. 101～112
第2編第1章 日本の姿	・日本が海洋国家であることを地図や写真から理解できるようにするとともに、日本の領域についての学習を充実させ、領域保全のための様々な活動を取り上げることで、我が国を愛するとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第1号, 第5号)	P. 113～119
第2編第2章1 自然環境や災害・ 防災からみた日本	・地震・火山災害、気象災害、防災・減災（自助・共助・公助）について詳しく学習するページを設け、生徒が日常生活の中で普段から防災対策を行うことができるようにしました。(第1号, 第2号, 第3号, 第4号, 第5号)	P. 140～145
	・東日本大震災、南海トラフ巨大地震について学習する「地域からのメッセージ 東日本大震災からの復興をめざして」, 「地域からのメッセージ せまりくる巨大地震」を設け、東日本大震災の被災地における復興の状況、将来の地震災害に対する備えの重要性を理解できるようにしました。合わせて、消防、警察、海上保安庁、自衛隊をはじめとする国や地方公共団体の諸機関や担当部局、地域の人々やボランティアの取り組みを取り上げました。(第1号, 第2号, 第3号, 第4号, 第5号)	P. 146～149
第2編第2章2 人口からみた日本	・過密化・過疎化、少子高齢化、人口減少に伴う諸課題を整理して提示することで、第2編第3章で人口からみた日本の将来像を追究することができるようにしました。(第1号, 第3号, 第5号)	P. 152～153
第2編第2章3 資源・エネルギーと 産業からみた日本	・「地域からのメッセージ 原子力発電所の事故と再生可能エネルギー」を設け、福島第一原子力発電所の事故の概要を理解し、日本の将来の電力・エネルギー問題を考察することができるようにしました。(第1号, 第3号, 第4号, 第5号)	P. 156～157
第2編第2章4 結びつきからみた 日本	・情報通信技術の進歩による地域間の結びつきの変化を例に、現在は知識や情報を中心として社会・経済が発展していく情報社会を迎えていることを取り上げました。(第1号)	P. 164～165, 167
第2編第3章1 九州地方－環境問 題や環境保全の視 点で－	・人々の生活場面（日常生活・余暇・労働など）や伝統・文化についての写真を豊富に掲載し、我が国と郷土を愛する心を育むことができるようにしました。また、学習内容をもとに思考・判断・表現する「言語活動コーナー」や「学習の確認と活用」で自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができるようにしました。(第1号, 第2号, 第3号, 第5号)	P. 170～181

	<ul style="list-style-type: none"> ・災害・防災について系統立てて学習する「地理+α 災害・防災」を設けました。また、環境問題や環境保全、持続可能な社会について系統立てて学習する本文、「地理+α 持続可能な社会」、「地域からのメッセージ 日本の環境首都をめざしてー福岡県北九州市を例にー」を設けました。(第1号, 第3号, 第4号, 第5号) 	P. 171, 173~180
第2編第3章2 中国・四国地方ー 人口や都市・村落 の視点でー	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活場面（日常生活・余暇・労働など）や伝統・文化についての写真を豊富に掲載し、我が国と郷土を愛する心を育むことができましたようにしました。また、学習内容をもとに思考・判断・表現する「言語活動コーナー」や「学習の確認と活用」で自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができましたようにしました。(第1号, 第2号, 第3号, 第5号) 	P. 182~193
	<ul style="list-style-type: none"> ・平和記念都市としての広島市を取り上げ、国際社会の平和と発展の重要性を理解できるようにしました。(第5号) 	P. 187
	<ul style="list-style-type: none"> ・災害・防災について系統立てて学習する「地理+α 災害・防災」を設けました。(第1号, 第3号, 第4号, 第5号) 	P. 191
	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域からのメッセージ 地域活性化の取り組みをみるー鳥取県日南町を例にー」を設け、過疎地域の持続可能性について考察することができるようにしました。(第1号, 第3号, 第5号) 	P. 192
第2編第3章3 近畿地方ー歴史的 背景の視点でー	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活場面（日常生活・余暇・労働など）や伝統・文化についての写真を豊富に掲載し、我が国と郷土を愛する心を育むことができましたようにしました。また、学習内容をもとに思考・判断・表現する「言語活動コーナー」や「学習の確認と活用」で自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができましたようにしました。(第1号, 第2号, 第3号, 第5号) 	P. 194~205
	<ul style="list-style-type: none"> ・災害・防災について系統立てて学習する「地理+α 災害・防災」を設けました。また、環境問題や環境保全、持続可能な社会について系統立てて学習する「地理+α 持続可能な社会」を設けました。(第1号, 第3号, 第4号, 第5号) 	P. 195, 203
	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域からのメッセージ 時代の変化に対応する伝統文化ー京都府京都市の祇園祭を例にー」を設け、伝統文化を守り、未来に継承していく人々の取り組みについて考察することができるようにしました。(第1号, 第5号) 	P. 204
第2編第3章4 中部地方ー産業の 視点でー	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活場面（日常生活・余暇・労働など）や伝統・文化についての写真を豊富に掲載し、我が国と郷土を愛する心を育むことができましたようにしました。また、学習内容をもとに思考・判断・表現する「言語活動コーナー」や「学習の確認と活用」で自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができましたようにしました。(第1号, 第2号, 第3号, 第5号) 	P. 206~217
	<ul style="list-style-type: none"> ・災害・防災について系統立てて学習する「地理+α 災害・防災」を設けました。(第1号, 第3号, 第4号, 第5号) 	P. 207
	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラジルなどからの日系人の来日を取り上げた「地理+α」で、多文化共生社会の重要性を認識できるようにしました。また、富山市のコンパクトシティの取り組みを取り上げた「地理+α 持続可能な社会」で、人口減少社会における地域の持続可能性について考察することができるようにしました。(第1号, 第3号, 第5号) 	P. 211, 215
	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域からのメッセージ 伝統工業・地場産業の現状と未来ー輪島塗、鯖江の眼鏡を例にー」を設け、伝統工業や地場産業を守り、未来に継承していく人々の取り組みについて考察することができるようにしました。(第1号, 第5号) 	P. 216
第2編第3章5 関東地方ー他地域 との結びつきの視 点でー	<ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活場面（日常生活・余暇・労働など）や伝統・文化についての写真を豊富に掲載し、我が国と郷土を愛する心を育むことができましたようにしました。また、学習内容をもとに思考・判断・表現する「言語活動コーナー」や「学習の確認と活用」で自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができましたようにしました。(第1号, 第2号, 第3号, 第5号) 	P. 218~229
	<ul style="list-style-type: none"> ・災害・防災について系統立てて学習する「地理+α 災害・防災」を設けました。また、環境問題や環境保全、持続可能な社会について系統立てて学習する「地理+α 持続可能な社会」を設けました。(第1号, 第3号, 第4号, 第5号) 	P. 219, 225
	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域からのメッセージ ニュータウンからみる結びつきの変化ー高島平とユウカリが丘を例にー」を設け、大都市圏における地域の持続可能性について考察することができるようにしました。(第1号, 第3号, 第5号) 	P. 228

第2編第3章6 東北地方－生活・ 文化の視点で－	・人々の生活場面（日常生活・余暇・労働など）や伝統・文化についての写真を豊富に掲載するとともに、人々の生活を紹介する「声コーナー」を設け、我が国と郷土を愛する心を育むことができるようにしました。また、学習内容をもとに思考・判断・表現する「言語活動コーナー」や「学習の確認と活用」で自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができるようにしました。（第1号、第2号、第3号、第5号）	P. 230～241
	・東日本大震災や福島第一原子力発電所の事故が東北地方におよぼす影響や、復興に取り組む人々の思いや努力について、多面的・多角的に取り上げました。また、災害・防災について系統立てて学習する「地理＋α 災害・防災」を設けました。（第1号、第3号、第4号、第5号）	P. 230～233, 237～240
	・「地域からのメッセージ 過去からの伝承に学ぶ－災害を後世に伝えるために－」を設け、災害の伝承を未来に伝えていくことの重要性について考察することができるようにしました。（第1号、第5号）	P. 240
第2編第3章7 北海道地方－自然 環境の視点で－	・人々の生活場面（日常生活・余暇・労働など）や伝統・文化についての写真を豊富に掲載するとともに、人々の生活を紹介する「声コーナー」を設け、我が国と郷土を愛する心を育むことができるようにしました。また、学習内容をもとに思考・判断・表現する「言語活動コーナー」や「学習の確認と活用」で自分の言葉で表現する学習活動を提示し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができるようにしました。（第1号、第2号、第3号、第5号）	P. 242～253
	・日本の先住民族であるアイヌ民族の歴史や文化を取り上げ、多文化共生社会の重要性を認識できるようにしました。（第5号）	P. 244, 247
	・災害・防災について系統立てて学習する「地理＋α 災害・防災」, 「地域からのメッセージ 火山と地域との共生－洞爺湖有珠山ジオパークを例に－」を設けました。また、環境問題や環境保全、持続可能な社会について系統立てて学習する「地理＋α 持続可能な社会」を設けました。（第1号、第3号、第4号、第5号）	P. 247, 251, 252
第2編第4章 身近な地域の調査 －愛知県小牧市を 例に－	・様々な調査方法や調査の具体例を紹介するなどして、身近な地域の調査への興味・関心を高め、身近な地域の地域的特色を捉えることができるようにしました。（第1号、第2号、第5号）	P. 255～268
	・調査活動全般において、自分の言葉で表現し、他者の考えを認め、そこから自分の考えを発展させることができるようにしました。また、調査の際には、聞き取り調査でマナーを守ることも明記しました。（第1号、第2号、第3号）	P. 255～268
	・調査活動の過程において、地域の課題を見出し、地域社会の形成に参画しその発展に努力しようとする具体例を紹介することで、社会参画への意欲を喚起するようになりました。（第3号、第5号）	P. 264～268
巻末	・「日本の主なユネスコ無形文化遺産」, 「日本の世界遺産」を設け、伝統と文化を尊重し、我が国と郷土を愛する心を育むことができるようにしました。（第5号）	P. VII～IX
教科書全体	・地理的技能を5種類に整理し、生徒の発達段階に応じて系統立てて習得できるように、「スキルUP」を随所に設けました。（第1号、第2号）	P. 4～266

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

【特別支援教育・カラーユニバーサルデザイン、防災・安全教育への配慮】

特別支援教育・カラーユニバーサルデザインの観点で専門家の校閲を受け、ルビはすべて読みやすいゴシック体にするほか、図版中の配色や体裁にいたるまで、カラーユニバーサルデザインに配慮した紙面にしました。また、防災・安全教育に関する教材は、専門家に校閲いただいています。

【環境などへの配慮】

環境などへの影響が少ない植物性インキと再生紙を使用しています。本文用紙は、光沢をやわらげて目に優しく、大判化に伴う重量増をおさえる軽い紙を採用しました。

編 修 趣 意 書

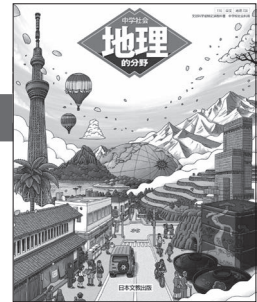
(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-98	中学校	社 会	地 理	1・2年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
116 日文	地理 728	中学社会 地理的分野		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I 編修の基本方針

生徒の確かな成長と国際理解の深まりを願い、広い視野に立って我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を考察し理解することを通して、未来を担う生徒たちの糧となり、社会で生かしていくことができる内容をめざしました。



- 1 我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色を着実に捉えることのできる教科書
- 2 地理的技能をみがき、思考力・判断力・表現力の向上を図る教科書
- 3 環境問題や環境保全, 持続可能な社会, 災害・防災, 伝統・文化に対する理解を深める教科書
- 4 地理を学ぶ楽しさを伝え、生徒の学習をしっかりと支える教科書

II 編修上の留意点と特色

1 構成上の特色

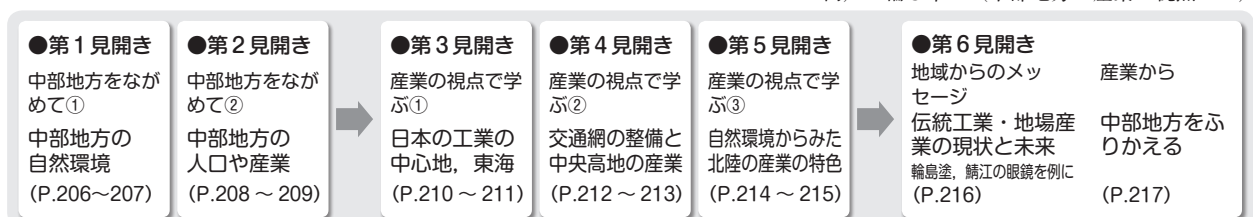
世界の各州・日本の各地方の地域的特色を確実に理解できる構成にしています

● 1編3章(世界の諸地域), 2編3章(日本の諸地域)の基本構成

最初の4ページで州・地方の地形や気候, 歴史, 人口, 産業, 文化などの概要をおおまかにつかむようにしました。そのうえで, 続く6ページ(一部の州では4・8ページ)で, 州におけるテーマや地方における視点をもとに, 地域的特色を追究していくこととしました。

最後に, 州・地方の様々なトピックスを掘り下げる特設ページ(自由研究・地域からのメッセージ), 学習のまとめ(○○州をふりかえる・○○地方をふりかえる)を設定し, 州・地方の地域的特色を確実に捉えることができるようにしました。

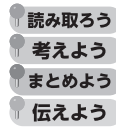
例) 2編3章4 (中部地方-産業の視点で-)



地理的事象について生徒が考え、判断し、表現することができる構成にしています

●思考力・判断力・表現力を培う学習活動の設定

「言語活動コーナー」や「学習の確認と活用」など、様々な地理的事象について考え、判断し、自分の言葉で表現することを促す学習活動を設定しました（本資料P.9参照）。この学習活動に取り組むことによって、我が国の国土及び世界の諸地域の地域的特色の理解をいっそう深めることができます。



例) 1編3章1 (アジア州-経済成長による社会の変化をテーマに-)
P.32「読み取ろう」 アジア州全図からの読図
P.36「考えよう」 中国の一人っ子政策についての考察
P.40「まとめよう」 インドで「緑の革命」が必要だった理由の説明

●地理的技能の着実な習得を可能にするコーナーの設定

地理的事象について考え、判断し、自分の言葉で表現する際に必要となる地理的技能を5種類に整理し、生徒の発達段階に応じて系統立てて習得できるように、「スキルUP」を随所に設けました。



地理的な決まりを身につける①～③

…… P.9, 11, 121

地図を活用する①～⑨

…… P.11, 26, 53, 73, 108, 125, 127, 128, 261

写真を活用する①～⑥

…… P.16, 18, 20, 24, 179, 246

統計資料を活用する①～⑥

…… P.4, 14, 35, 104, 105, 151

調べ方を身につける①～⑬

…… P.102, 102, 106, 110, 112, 256, 256, 258, 258, 260, 262, 265, 266

2 内容上の特色

今日的課題について、生徒が主体的に考察することができる教材を取り上げています

●最新の地理的トピックスをふんだんに盛り込んだ教材

本文はもちろん、コラム「地理+α」や特設ページ「自由研究」「地域からのメッセージ」では、地理の学習を掘り下げ、学習内容の理解を深めていくことができる最新の地理的トピックスなどを取り上げました。世界や日本の地理的事象はどのように変化しているのか、世界や日本では何が今日的課題とされているのかを、具体的事例とともに紹介しています。



経済成長を続けるスリランカと日本 (アジア州, P.44)
武器を芸術作品に変える取り組み (アフリカ州, P.66)
工業の変化に対応する都市の取り組み (北アメリカ州, P.78)
など



地域活性化の取り組みをみる (鳥取県日南町, P.192)
時代の変化に対応する伝統文化 (京都府京都市, P.204)
ニュータウンからみる結びつきの変化 (高島平・ユウカリが丘, P.228) など

●災害・防災に関する教材の充実

2編2章1（自然環境や災害・防災からみた日本）では、地震・火山災害、気象災害、防災・減災（自助・共助・公助）について詳しく学習するページを設け、生徒が日常生活の中で普段から防災対策を行うことができるようにしました（P.140～149）。また、災害・防災について系統立てて学習することができるシリーズコラム「**地理+α 災害・防災**」を設定しました。

地理
プラス **α** 災害・防災

釜石の奇跡（P.145） ハザードマップ（P.149）
輪中の知恵（P.207） 克雪・利雪・楽雪（P.247） など

●環境問題や環境保全、持続可能な社会に関する教材の充実

環境問題や環境保全、持続可能な社会について系統立てて学習することができるシリーズコラム「**地理+α 持続可能な社会**」を設定しました。

地理
プラス **α** 持続可能な社会

再生可能エネルギー（P.55, 155）
琵琶湖の環境保全（P.203） 知床半島の環境保全（P.251） など

●伝統・文化に関する教材の充実

我が国における伝統・文化の現状と、それを守り、未来に継承していく人々の取り組みについて、随所に写真、コラム「**地理+α**」、特設ページ「**地域からのメッセージ**」などを設定しました。


●「中学校学習指導要領解説 社会編」の一部改訂に対応した教材の充実

日本の領域についての学習では、北方領土・竹島の領土問題や尖閣諸島についてわかりやすく、詳しく解説しました（P.116～119）。

災害・防災についての学習では、災害時の対応や復旧、復興を見据えた視点や、国や地方公共団体、地域の人々やボランティアの連携による、地域の人々の生命や安全の確保のための活動について、詳しく取り上げました（P.144～149）。

小学校や他分野との連携を重視しています

●小学校社会科や他分野との連携を重視

本文ページの脚注欄に連携コーナー〔〕を設けて、小学校・歴史的分野・公民的分野との関連をわかりやすく示しました。

3 紙面上の特色

地理を学ぶ楽しさを伝え、生徒の学習をしっかりと支えるように紙面を工夫しています

●地域的特色の理解に必要な図版を豊富に掲載

我が国の国土や世界の諸地域の地域的特色を理解するために必要な地図・写真・グラフなどの図版を、大判紙面を生かしてビジュアルに示しています。

1編3章（世界の諸地域）、2編3章（日本の諸地域）では、以下の図版を共通の位置・体裁で配置し、地域的特色の理解を容易にしています。

◆第1見開き：地形、気候（世界のみ）、雨温図

◆第2見開き：人口密度、土地利用と農業・漁業（漁業は日本のみ）、工業（日本のみ）

●「授業」や「生徒の思考」の流れを重視した本文見開きの紙面構成

本文は原則1授業時間＝見開き2ページとし、この見開きで何を学ぶのかを「学習課題」で明確に示しました。また、右ページの側注欄に「学習の確認と活用」を設けて、学習のポイントの確実な定着を企図した学習活動や、自分の考えを説明することを促す問いかけを提示しました。

また、思考力・判断力・表現力を培う「言語活動コーナー」などを適宜配して、自己の学習成果を実感できる構成にしました。

さらに、本文には、関連する図版番号を付して、本文と図版資料との関連をいっそう強めた紙面構成にしました。



連携コーナー
小学校社会科の学習や歴史・公民の学習とのつながりを示しています。

〇〇〇も見てみよう
見開きの学習内容の理解を深めるために、関連する特設ページなどを示しています。

言語活動コーナー
読み取ろう まとめよう
考えよう 伝えよう
図版の内容を読み取ったり、読み取ったことをもとに思考・判断・表現したりする活動を示しています。

地理 **プラスα** **日本の姿**
見開きの学習内容に関する事項を掘り下げて、学習内容の理解を深めていくことができるコラムです。

スキルUP
地理の学習を進めるにあたって必要な技能を5種類に整理し、系統立てて習得できるように、詳しく解説しています。(一覧は教科書P.VI)

トライ
見開きの学習内容を深めるための作業学習です。

声
実際にそこに住む人々の言葉を紹介しています。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
第1編 世界のさまざまな地域			49
第1章 世界の姿 ※巻頭含む	(1) ア	P.Ⅱ～Ⅲ P.1～12	<5>
第2章 世界各地の人々の生活と環境	(1) イ	P.13～30	<8>
第3章 世界の諸地域			<28>
1 アジア州－経済成長による社会の変化をテーマに－ ※「ナビ」含む	(1) ウ	P.31～45	(6)
2 ヨーロッパ州－EU統合による社会の変化をテーマに－	(1) ウ	P.46～57	(5)
3 アフリカ州－主な生産品にたよる経済からの変化をテーマに－	(1) ウ	P.58～67	(4)
4 北アメリカ州－世界じゅうに影響をあたえる産業をテーマに－	(1) ウ	P.68～79	(5)
5 南アメリカ州－開発・環境問題と人々の生活をテーマに－	(1) ウ	P.80～89	(4)
6 オセアニア州－他地域との結びつきの変化をテーマに－ ※「学習の活用」含む	(1) ウ	P.90～100	(4)
第4章 世界のさまざまな地域の調査－ロシアを例に－	(1) エ	P.101～112	<8>
第2編 日本のさまざまな地域			65
第1章 日本の姿	(2) ア	P.113～130	<7>
第2章 世界からみた日本の姿			<15>
1 自然環境や災害・防災からみた日本 ※「ナビ」含む	(2) イ(ア)	P.131～149	(7)
2 人口からみた日本	(2) イ(イ)	P.150～153	(2)
3 資源・エネルギーと産業からみた日本	(2) イ(ウ)	P.154～163	(4)
4 結びつきからみた日本 ※「学習の活用」含む	(2) イ(エ)	P.164～168	(2)
第3章 日本の諸地域			<35>
1 九州地方－環境問題や環境保全の視点で－ ※「ナビ」含む	(2) ウ	P.169～181	(5)
2 中国・四国地方－人口や都市・村落の視点で－	(2) ウ	P.182～193	(5)
3 近畿地方－歴史的背景の視点で－	(2) ウ	P.194～205	(5)
4 中部地方－産業の視点で－	(2) ウ	P.206～217	(5)
5 関東地方－他地域との結びつきの視点で－	(2) ウ	P.218～229	(5)
6 東北地方－生活・文化の視点で－	(2) ウ	P.230～241	(5)
7 北海道地方－自然環境の視点で－ ※「学習の活用」含む	(2) ウ	P.242～254	(5)
第4章 身近な地域の調査－愛知県小牧市を例に－	(2) エ	P.255～268	<8>
地理を学んで ※巻末含む	(1)～(2)	P.269 P.Ⅶ～Ⅸ	1
	(予備時間：5時間)	合計	115

※予備時間は、学校や生徒の実態に即して弾力的に扱っていただくための時間です。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-98	中学校	社 会	地 理	1・2年
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
116 日文	地理 728	中学社会 地理的分野		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項
141	発展 地理+ a 災害・防災 地震・津波が起きるしくみ	2	<p>内容(2)イ (ア) 自然環境 世界的視野から日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色を理解させるとともに、国内の地形や気候の特色、自然災害と防災への努力を取り上げ、日本の自然環境に関する特色を大観させる。</p> <p>内容の取扱い(2) エ 地域的特色を追究する過程で生物や地学的な事象などを取り上げる際には、地域的特色をとらえる上で必要な範囲にとどめること。</p>

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 1 ページ)